

2023年5月22日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団、チャレンジデー事業終了のお知らせ 最後となる「チャレンジデー2023」は5月31日(水)開催

スポーツ・フォー・エブリワンを推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利)は、住民総参加型スポーツイベント『チャレンジデー』を1993年から国内でコーディネートしてまいりましたが、5月31日(水)に開催するチャレンジデー2023をもちまして事業を終了することとなりました。

■チャレンジデーの歩み

チャレンジデーは、地域住民の運動・スポーツの習慣化やスポーツによる地域づくり・まちづくりを目的に、全国最大級の住民参加型スポーツイベントとして発展してきました。1993年5月26日、第1回目は島根県加茂町(現:雲南市)のみで実施、参加人数4,925人でしたが、それ以降毎年実施し(2020年はコロナ禍で中止)、これまでに延べ2,325の自治体・地域で開催され、3,600万人以上に参加いただきました。チャレンジデーをきっかけに、独自の自治体間交流や災害時における協定が結ばれるなど、その波及効果はスポーツの範疇に留まりません。

■チャレンジデー事業終了の背景

国内の社会環境は急激に変化しております。少子・高齢化、人々の価値観の多様化や社会課題の複雑化などの影響を受けて、チャレンジデーの全国一斉開催という手法では、運動・スポーツ習慣者を増やす効果に限界がみられるようになりました。

こうしたことから、笹川スポーツ財団は、今後個々の自治体との連携を一層強化し、スポーツを通じたまちづくりや住民の健康・体力づくりの課題に取り組む新たな事業を展開するために、チャレンジデー事業を終了する判断に至りました。

長年にわたりチャレンジデーに参加し楽しんでいただいた皆さまに心より御礼申し上げます。

■今後の予定

2023年5月	チャレンジデー2023 エール交換(希望自治体ごと)
2023年5月31日	チャレンジデー2023 開催(67自治体参加)
2023年6月	チャレンジデー2023 アワード発表
2023年8月(予定)	チャレンジデー感謝のつどい開催(於:東京)

【チャレンジデー2023 開催概要】

- 【開催日】 2023年5月31日(水) 午前0時～午後9時
- 【実施自治体】 全国67ヵ所(35市27町5村) 【総人口】 2,185,181人
- 【勝敗・ルール】 ・人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動やスポーツを行った住民の参加率(%)を競う。
・対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚し相手の健闘を称える。
- 【主催】 笹川スポーツ財団・全国67自治体実行委員会

【本件に関するお問合せ先】

笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当: 佐藤/平峯/山下
TEL: 03-6229-5300 cday@ssf.or.jp

【チャレンジデーの歴史】

1983年	カナダでチャレンジデーが始まる サスカトゥーン市にて「ParticiPACTION Challenge」が開催(50自治体) 「子どもの肥満」が社会問題となり、その解決を目指し開催
1992年	国際スポーツ・フォー・オール推進団体のTAFISAが国際チャレンジデーを主催 チャレンジデーがグローバル化
1993年	笹川スポーツ財団がコーディネーターを務め、国内1回目となるチャレンジデーを開催 第1回目の開催の参加自治体は、島根県加茂町(現:雲南市) 以降、チャレンジデーが全国各地に拡大
2003年	福島県南郷村 VS 宮崎県南郷町のなんごう対決 岡山県大原町(宮本武蔵) VS 福井県今立町(佐々木小次郎)の巖流島対決などユニークな 対戦が増加
2008年	参加自治体・地域数が100を超え、参加者数も100万人を突破
2011年	3月11日、東日本大震災が発生 「スポーツの力で日本を元気に！」をスローガンとして、対戦なしの形式で開催
2015年	秋田県で史上初の県内全市町村で実施 宇部市スポーツコミッションと共同実践事業「チャレンジデーに向けてホップ・ステップ・ジャンプ～ 参加率アップを目指した新規開拓アプローチ～」を実施
2016年	三重大学と共同研究「チャレンジデーの実施プロセスおよび社会的インパクトに関する調査研究」 を実施
2017年	参加者が300万人を超える
2018年	チャレンジデーのロゴとブランドカラーをリニューアル イメージカラーをブルーからオレンジへ変更 ミズノ(株)とチャレンジデー協力に関する協定を締結
2020年	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、史上初のチャレンジデー中止 フォローアップイベント「おうちチャレンジデー2020」開催
2021年	チャレンジデー2021の開催を5月から10月に延期 神奈川県秦野市と岐阜県関市「災害時における相互応援に関する協定」締結
2023年	チャレンジデー2023を以ってチャレンジデー事業終了

【チャレンジデー実施自治体・参加者数の推移】
